

甲 7 6 の 2 ( 甲 7 6 の 1 の 和 訳 ) 文 責 : 弁 護 士 戸 田 善 恭

甲 7 6 の 1 1 0 7 3 頁 赤 枠 部 分

外科的不妊手術は世界で最も人気のある避妊方法となっている。米国では、約 4 0 0 万人の男性と 1 0 0 0 万人の女性が不妊手術を受けている。永久的な避妊方法を求めるカップルは、精管切除と卵管結紮の両方を選択肢として考慮することがある。不妊手術に関してカップルにカウンセリングを行う際、手術を受けたことを後に後悔する可能性は重要な考慮事項である。女性の不妊手術後の後悔に関する情報は入手可能であるが、男性の不妊手術後の後悔についてはほとんど知られていない。

甲 7 6 の 1 1 0 7 5 頁 赤 枠 部 分

後悔を表明する、女性が夫に再建手術を要求する、夫が再建手術を要求する、そして実際に再建手術を受ける 5 年間の累積確率は、それぞれ 6 . 1 %、2 . 0 %、1 . 4 %、0 . 4 %であった。

甲 7 6 の 1 1 0 7 7 頁 赤 枠 部 分 ①

夫の精管切除後 5 年間のフォローアップインタビューで後悔を表明した女性の累積確率は約 6 % であり、これは卵管結紮を受けた女性の後悔の確率と同様であった

甲 7 6 の 1 1 0 7 7 頁 赤 枠 部 分 ②

この報告と以前の報告は、永久的な避妊方法として不妊手術を選択したほとんどのカップルが、その決定に満足しており、後悔を経験しないことを示している。